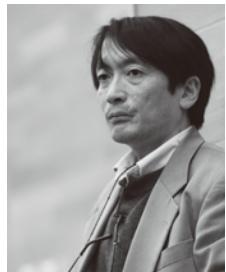


# 第8回BIJファミリーコンサート

## 「東日本大震災で被災した子供たちのための支援コンサート」

【出演】指揮：井上喜惟／ソプラノ：三谷結子／馬頭琴：アヨーシ・バトエルデネ  
合唱：カントルム井の頭の子供たち／司会：永井美奈子

### プロフィール



**井上 喜惟(ジャパン・シンフォニア音楽監督)**

中学卒業後渡欧。ヴェス、チェリビダッケ、ベルティニ、シュタイン、バーンスタンインに師事。カラブチエフスキイ、小澤征爾のアシスタントも務めた。1992年、チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会で正式デビュー。以後、チェコ、ポーランド、旧ソ連等を中心に活躍。チェコ・ナショナル交響楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、彼を指揮、多数のCDをレコーディング。ウィーンで指揮者のロリスト・チャイカボリアンと知り合いになったことがきっかけとなり、1993年、アルメニア・フィルハーモニー管弦楽団を指揮、朝日、日経新聞紙上で大きな話題となった。以来2000年まで客演指揮者を務めることとなった。2000年4月、井上の尽力により同オケは日本政府の無償資金協力を得て楽器等を一新、同年9月にはそれらの楽器の披露も兼ねて、井上自身のプロデュース、国際交流基金の助成によりアルメニアの首都、エrevanで「日本音楽週間」が実現した。この模様は朝日新聞紙上で大きく取り上げられた。2001年から2003年までアルメニア国立放送交響楽団音楽監督・首席指揮者。現在、ジャパン・シンフォニア音楽監督およびウィーン国際マーラー協会からの承認を得て活動中のアマチュア・オーケストラ、ジャパン・グスタフ・マーラー・オーケストラでも設立段階から音楽監督を務めている。2011年秋からモンゴル国立音楽舞踏大学客員教授。2013年1月からモンゴル国立フィルハーモニー交響楽団客演指揮者。



**三谷結子(ソプラノ)**

三重県出身。武蔵野音楽大学声楽科卒業。読売新人演奏会をはじめ各種新人演奏会出演後、ウィーンに留学。フライナー・コンセルバトワール声楽科を最優秀の成績で卒業。碓井士郎、及川皓、宮廷歌手ソーナ・ガザリアン、宮廷歌手レナード・ホルム、諸氏に師事。オーストリア・バーデン市立劇場のオーディション合格。レハール作曲「微笑みの国」の“ミー”役でデビュー。各方面より大好評を得、同劇場で、レハール作曲「ロシア皇太子」の主役“ソニア”に抜擢され好演、絶賛を浴びる。その後ヨーロッパ各地の劇場及びフェスティバルに多数客演。2001年にはヨーロッパ最大の湖上フェスティバル・メルビッシュ湖上音楽祭で「微笑みの国」の“ミー”役に抜擢されヨーロッパ及び日本でその模様はテレビ放映され好評を得た。日本では2002年5月新国立劇場にツェラー作曲「小鳥売り」のヒロイン・クリスティーネ役でデビュー。テレビ・新聞などに大きく取り上げられ、大成功を果たした。又コンサート歌手としても活躍しリーダーアーベントやウィーンの各種イベントに多数出演。得意のドイツ語及びオーストリア各地の方言などで多くのウィーン歌曲を歌いこなしオーストリア人の観客から厚い支持を受けている。チャリティ活動にも大変意欲的で子供のためのチャリティー及び東日本大震災のためのチャリティー活動などに貢献している。現在ヨーロッパ各地及び日本で、オペラ・オペレッタ・ガラコンサート、オラトリオのソロ、リサイタル、各種記念式典そしてテレビ・ラジオ出演と幅広く活躍している。JILL A音楽コンクール声楽部門優勝。ニコ・ド・スタイル・コンクール入賞。ヨハネ・シュトラウスコンクール入賞。ローベルト・シュトゥルツ協会より感謝状受賞。現在舞台活動の傍らウィーンの音楽大学で声楽科の講師としても活躍している。



**アヨーシ・バトエルデネ(馬頭琴)**

1975年モンゴル国ゴビアルタイ県生まれ。4歳より父について馬頭琴を習い始める。5歳のとき初めて舞台で演奏。モンゴル国立芸術大学、同大学院修士課程卒業。同大学で教鞭をとる。1989年第1回、1995年第2回ジャミヤン(馬頭琴を現代の楽器に生まれ変わらせた産みの親)全国馬頭琴コンクールにてグランプリ受賞。1998年大阪民族博物館「大モンゴル展」にて演奏。2000年、ヨーヨーマのシルクロードアンサンブルに参加。2008年11月にWMA(世界馬頭琴協会)理事長に就任。世界各国で演奏活動を行う。2001年より東京在住。

日本国内でも各地で演奏活動、馬頭琴の指導を行い、小中学校でのモンゴル文化普及活動にも取り組むなど幅広く活動している。



**永井 美奈子(司会)**

オフィシャルホームページhttp://www.nagaiminako.com 日本テレビアナウンサーを経てフリーに。『マジカル頭脳パワー』『24時間テレビ』『ザ・サンデー』他、多数の番組を担当。退社後は、政界、財界、スポーツ選手、芸能人100人に取材をするなど、インタビューとしても活躍。現在、妻、二児の母(9歳、4歳)、フリーANAウンサー、研究者、と四足の草鞋を履きこなすべく奮闘中。主な活動として、クラシックコンサートやイベントの司会、ラジオ、講演会、エッセイの執筆のほか、小学校においての「朗誦」講師のボランティアや、子を持つ親の立場でのプロデュースなど、活躍の場を広げている。慶應義塾大学研究員、成城大学非常勤講師。ワインエキスパートの資格を持ち、趣味はワインと観劇。

### メッセージ(主催者:ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社)

東日本大震災から2年以上が経過しましたが、被災地では復興に向かっての懸命な努力がまだまだ続けられています。しかし復興までにはまだ多くの時間と多くの人々の協力が必要です。我々ベーリンガーインゲルハイムは音楽の力を借りて、少しでも被災地の方々のお役に立てればと考えております。

第8回を迎えるBIJ FAMILY CONCERTは、今年も大震災で被災されたお子様を支援するためのコンサートといたしました。被災地でがんばっている子供たちが、心安らぐメロディーや、踊りだしたくなるようなリズムを楽しんでいる。このコンサートが終わったらみんな笑顔で帰っていく。そんなコンサートにできればと思います。音楽を通して子供たちと一緒にモンゴルからドイツまでの世界旅行をお楽しみいただければと思います。

ベーリンガーインゲルハイムは、革新的な医薬品・治療法の開発を通じて人々の健康に奉仕することを使命としています。また100年以上にわたって「思いやり」の企業文化を醸成し、「人々のより良い健康のために」をモットーに、企業の社会的責任や献身的に社会へ関与する企業風土を目指しています。このコンサートを通じ子供たちの笑顔や心の健康に貢献できれば幸いです。

東日本大震災復興支援財団は、東北の子どもたちが笑顔を取り戻し、夢と希望をはぐくむ環境づくりのお手伝いをしています。

高校生向け奨学金「まなべる基金」や、福島の小学生向け体験プログラム「ふみだす探検隊」など、子どもたちがこれまでのように学び、遊び、夢を描けるよう、現地のNPOと協力しながら、さまざまな活動を行っています。

東北の新しい未来を創る子どもたちに、皆さまの温かいご支援をお願い致します。

公益財団法人東日本大震災復興支援財団